

MIC Worship Service – 2024.10.06 Missions Month

Title: "God's Heart for the Nations"

Text: Psalm 67:1~7 (NIV)

MIC 礼拝 - 2024.10.06 宣教月間

『国々の民に対する神の思い』

聖書箇所：詩篇 67 篇 1~7 節 (新改訳)

¹ May God be gracious to us and bless us and make his face shine on us—² so that your ways may be known on earth, your salvation among all nations.

³ May the peoples praise you, God; may all the peoples praise you.

⁴ May the nations be glad and sing for joy, for you rule the peoples with equity and guide the nations of the earth.

⁵ May the peoples praise you, God; may all the peoples praise you.

⁶ The land yields its harvest; God, our God, blesses us.

⁷ May God bless us still, so that all the ends of the earth will fear him.

1 どうか、神が私たちをあわれみ、祝福し、御顔を私たちの上に照り輝かしてくださるように。
セラ

2 それは、あなたの道が地の上に、あなたの御救いがすべての国々の間に知られるためです。

3 神よ。国々の民があなたをほめたたえ、国々の民がこぞってあなたをほめたたえますように。

4 国民が喜び、また、喜び歌いますように。それはあなたが公正をもって国々の民をさばまれ、地の国民を導かれるからです。セラ

5 神よ。国々の民があなたをほめたたえ、国々の民がこぞってあなたをほめたたえますように。

6 地はその産物を出しました。神、私たちの神が、私たちを祝福してくださいますように。

7 神が私たちを祝福してくださって、地の果て果てが、ことごとく神を恐れますように。

Introduction

As we dive into this psalm, we get a glimpse of God's heart for the nations. **Psalm 67** is often referred to as a **"missionary psalm"** because it reveals God's desire that all people, from every tribe and nation, come to know and worship Him. Today, we will unpack what it means to have a heart for the nations and how this aligns with God's ultimate plan for the world.

この詩篇の箇所を読むと、国々の民に対する神の心を垣間見ることができます。詩篇 67 篇はしばしば「**宣教の詩篇**」と呼ばれますが、その理由は、あらゆる部族、あらゆる国のすべての人々が神を知り、神を礼拝するようになるようにとの神の望みが詩篇のこの箇所で明らかにされているからです。そのことを踏まえて、今日は、私たちが他の諸国民に対して心を持つとはどういうことを意味するのか、また、そのような私たちの思いが、世界に対する神のご計画とどのように一致するのかを解いていきたいと思えます。

I. God's Blessings Are Meant to Spread His Glory – verses 1~2

そのためにはまず、1 – 2 節に書かれている神の祝福について考えてみましょう。

I. 神の祝福は神の栄光を広めるためにある-1~2 節

¹ May God be gracious to us and bless us and make his face shine on us—² so that your ways may be known on earth, your salvation among all nations.

1 どうか、神が私たちがあわれみ、祝福し、御顔を私たちの上に照り輝かしてくださるよう。セラ-2 **それは**、あなたの道が地の上に、あなたの御救いがすべての国々の間に知られるためです。

This psalm opens with a prayer for blessing, echoing the priestly blessing in **Numbers 6:24~26**.

詩篇のこの箇所は祝福の祈りで始まっており、**民数記 6 章 24~26 節**に書かれている祭司の祝福と共鳴し合っています。

²⁴ “The Lord bless you and keep you; ²⁵ the Lord make his face shine on you and be gracious to you; ²⁶ the Lord turn his face toward you and give you peace.”

24 『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』

But the reason for the blessing in Psalm 67:1~2, is clear: *it's not just for personal gain or comfort but for God's ways to be known on earth and His salvation to spread among all nations.*

詩篇 67 篇 1 – 2 節に書かれている祝福とは、個人的な利益や慰めのための祝福ではなく、神の道がこの世に知りわたり、神の救いがあらゆる国々に広まるための祝福を意味しています。

In Genesis 12:1~3, God's promise to Abraham was that through him ***“all peoples on earth will be blessed.”***

また、創世記 12 章 1~3 節では、神のアブラハムへの約束について書かれており、アブラハムを通して「**地上のすべての民族は、祝福されます**」と、記されています。

Similarly, in Matthew 5:14~16, Jesus calls His followers the ***“light of the world,”*** not to hide under a bowl but to shine **for all** to see.

同様に、マタイによる福音書 5 章 14~16 節では、イエスは、ご自分に従う者たちのことを、器の下に隠れることなく、**すべての人に見えるように輝く**「**世界の光**」と呼んでおられます。

ILLUSTRATION: In the story of Israel, they were often blessed by God with victories, provision, and guidance. But these blessings weren't just for Israel. God's purpose was always global. For example, when Israel crossed the Jordan River and conquered Jericho, ***Rahab***, a foreigner, became a recipient of God's salvation.

イスラエルの物語では、イスラエル人たちは、神から勝利と備えと導きを与えられ、祝福されたと言われています。しかし、実はこれらの祝福はイスラエルだけのものではなかったのです。神の目的はイスラエルだけではなく、常にもっと広い世界を見ていたのです。例えば、イスラエルはヨルダン川を渡り、エリコを征服しましたが、その時、外国人であった**ラハブ**も神の救いを受けたのです。

Joshua 6:25 - *But Joshua spared Rahab the prostitute, with her family and all who belonged to her, because she hid the men Joshua had sent as spies to Jericho—and she lives among the Israelites to this day.*

ヨシュア記 6 章 25 節—25 しかし、遊女ラハブとその父の家族と彼女に属するすべての者とは、ヨシュアが生かしておいたので、ラハブはイスラエルの中に住んだ。今日もそうである。これは、ヨシュアがエリコを偵察させるために遣わした使者たちを、ラハブがかくまったからである。

John Stott, a British Anglican priest and theologian who was noted as a leader of the worldwide evangelical movement, said, “*We must be global Christians with a global vision because our God is a global God.*”

世界的な福音主義運動の指導者として知られ、英国聖公会の司祭であり神学者であったジョン・ストットは、「私たちの神は世界の神であるから、私たちは全世界に視野を向けることのできるクリスチャンでなければならない」と述べています。

This reflects the truth of this psalm: God’s blessings are not limited to one nation but are intended to lead the entire world to Him.

この言葉は、この詩篇箇所にかかれてある真理を反映しています。その真理とは、神の祝福は一つの国に限られて与えられるものではなく、全世界を神のもとに導くためのものであるという真理なのです。

APPLICATION: When you pray for God’s blessings in your life, ask yourself: How can these blessings be used to further God’s kingdom? Consider how your time, talents, and resources can be directed toward making His salvation known. Support missions financially, volunteer in community outreach, or share the gospel with someone who may have never heard it before.

自分の人生において、あなたが神の祝福を祈るとき、次のように自問してみてください。自分が願っているそれらの祝福について、神の国をさらに広げるために、どのようにその祝福を用いることができるだろうか？と、自分に聞いてみてください。あなたの時間、才能、資源を神の救いを知らせるためにどのように使うことができるのかを考えてみましょう。そして、宣教を経済的に支援したり、地域社会でボランティア活動をしたり、福音を聞いたことのない人に福音を伝えてみましょう。

II. God’s Desire is for All Nations to Worship Him - verses 3~5

そしてまた、3 – 5 節には、『**神の願いは、すべての国が神を礼拝すること**』であると書かれています。

II. 神の願いは、すべての国が神を礼拝すること - 3~5 節

³ *May the **peoples** praise you, God; may all the **peoples** praise you.* ⁴ *May the **nations** be glad and sing for joy, for you rule the **peoples** with equity and guide the **nations** of the earth.* ⁵ *May the **peoples** praise you, God; may all the **peoples** praise you.*

3 神よ。国々の民があなたをほめたたえ、国々の民がこぞってあなたをほめたたえますように。
4 国民が喜び、また、喜び歌いますように。それはあなたが公正をもって国々の民をさばまれ、
地の国民を導かれるからです。セラ
5 神よ。国々の民があなたをほめたたえ、国々の民がこぞってあなたをほめたたえますように。

In these three (3) verses, the word, **“peoples”** was used five (5) times and the word, **“nations”** was used two (2) times. The emphasis is unmistakable: **God’s ultimate desire is that every nation, tribe, and tongue would come to worship Him.** His rule is just, and His guidance is righteous. Therefore, the nations have every reason to rejoice and sing for joy.

この3節では、「**国々の民**」という単語が5回、「**国民**」という単語が2回使われています。それは紛れもなく、神の究極の願いとは、すべての国民、すべての部族、すべての人々の口が神を礼拝するようになることだと強調しているのです。神はすべてを公正に支配されます。そして、神の導きは正しいのです。それは、国々の民が、歌い喜ぶべきことなのです。

In Revelation 7:9, we read about John’s vision of a great multitude from **“every nation, tribe, people, and language”** standing before the throne and worshiping the Lamb (Jesus Christ).

ヨハネの黙示録 7章 9節には、「**あらゆる国民、部族、民族、言語**」をもって集まった大群衆が神の御座の前に立ち、小羊（イエス・キリスト）を礼拝しているのをヨハネが見たと書かれています。

In Isaiah 56:7, God declares that His house (temple) will be a **“house of prayer for all nations.”**

イザヤ書 56章 7節では、神はご自分の家（神殿）が「**すべての民の祈りの家**」になると宣言しておられます。

ILLUSTRATION: In Acts 10, we see Peter’s encounter with Cornelius, a Roman centurion. Though Cornelius was a Gentile, God made it clear to Peter that **the gospel was not just for the Jews but for all people.** This led to Cornelius and his household being saved and baptized, showing God’s desire to bring salvation to the nations.

使徒言行録 10章では、ペテロとローマの百人隊長コルネリオとの出会いのことが書かれています。コルネリオは異邦人でしたが、神は、**福音とはユダヤ人だけのものではなく、すべての人の**

ためのものであることをペテロに明らかにされたのです。その結果、コルネリオとその家族は救われ、バプテスマを受けることになったのです。

Charles Spurgeon, so-called the "*Prince of Preachers*" once said, "*It is the whole world to which we must look, and we must have pity upon it. Never rest satisfied with the limited sphere of your own individual exertions. Extend your work to the utmost bounds of the earth.*"

『伝道者の王子』と呼ばれるチャールズ・スポルジョンは、かつて次のように言いました。「自分の努力には限りがあるからと言って、それに甘んじてはならない。自分の仕業を地球の果てまで広げなさい。」

APPLICATION: How can you contribute to the spread of the gospel to other nations? Perhaps you can participate in a short-term mission trip, support an international missionary, or even begin by praying for a specific unreached people group. Websites like ***Joshua Project*** (<https://www.joshuaproject.net/>) list many such groups you can start praying for. // Actually, when preparing to come to Japan as missionaries, this is one of the websites we'd looked into to get a better understanding of what the spiritual condition of Japan is.

あなたは、他国へ行って福音宣教ができるでしょうか？できるとすれば、どのように貢献できるでしょうか？短期宣教旅行に参加もできるでしょうし、国際的に活動している宣教師を支援することもできるでしょう。あるいは、特定の未伝道民族のために祈ることから始めてもいいかもしれません。**ジョシュア・プロジェクト** (<https://www.joshuaproject.net/>) のようなウェブサイトには、そのような宣教グループのために祈る多くのリストがあります。実は私たちも、宣教師として日本に来る準備をしていたとき、日本での布教状況をよりよく理解するために調べたウェブサイトの一つが、ジョシュア・プロジェクトでした。

III. God's Justice and Righteousness Are for All People - verse 4

最後に、『**神の公正と義はすべての人のためにある**』ということが4節に書かれているので、お話しします。

III. 神の公正と義はすべての人のためにある-4節

⁴ *May the nations be glad and sing for joy, for you rule the peoples with equity and guide the nations of the earth.*

4 国民が喜び、また、喜び歌いますように。それはあなたが公正をもって国々の民をさばまれ、地の国民を導かれるからです。セラ

God is not a God of partiality. He rules all people with justice and righteousness. While human governments may fail in equity and justice, **God's reign is perfect**, and His will is that every person, regardless of nationality, experiences His just and righteous rule.

神は、選り好みをする神ではありません。公正と義をもってすべての人を支配されるのです。人間がつくった政府は、公平と正義を保てずに失敗するかもしれませんが、**神の統治（支配）は完全**であり、人々の国籍に関係なく、すべての人が神の公正で正しい統治を経験することを神は望んでいるのです。

Paul preached that God made all nations from one man and placed them on earth so they would seek Him and perhaps reach out for Him.

神が、一人の人間からすべての国民を造り地上に置かれた理由は、人々が神を求めた時に、神が救いの手を差し出せるようにするためなのだと言いました。

Acts 17:26~27 – ²⁶ From one man he made all the nations, that they should inhabit the whole earth; and he marked out their appointed times in history and the boundaries of their lands. ²⁷ God did this so that they would seek him and perhaps reach out for him and find him, though he is not far from any one of us.

使徒の働き 17章 26 – 27節—26 神は、ひとりの人からすべての国の人々を造り出して、地の全面に住ませ、それぞれに決められた時代と、その住まいの境界とお定めになりました。27 これは、神を求めさせるためであって、もし探し求めることでもあるなら、神を見いだすこともあるのです。確かに、神は、私たちひとりひとりから遠く離れてはおられません。

Psalms 96:10 – Say among the nations, “The Lord reigns.” The world is firmly established, it cannot be moved; he will judge the peoples with equity.

詩篇 96篇 10節—10 国々の中で言え。「主は王である。まことに、世界は堅く建てられ、揺らぐことはない。主は公正をもって国々の民をさばく。」

ILLUSTRATION: In the book of Jonah, God sent Jonah to preach repentance to the people of Nineveh, a Gentile city. Despite Jonah's reluctance, God's mercy extended to the people of Nineveh when they repented, showing that God's justice and salvation are available to all people, not just Israel.

ヨナ書において、神は異邦人であるニネベの人々に悔い改めを説くためにヨナを遣わされました。ヨナは、遣われたことに対して消極的でしたが、ニネベの人々は悔い改め、神の憐れみはニネベの人々に及びました。このことは、神の正義と救いはイスラエルだけでなく、すべての人々に与えられるのだということを示しました。

Missionary Hudson Taylor declared with such conviction that many who heard him became missionaries too, *"The Great Commission is not an option to be considered; it is a command to be obeyed."*

宣教師のハドソン・テイラーは、多くの人々が彼の言葉を聞き宣教師になったことで、次のように確信し、宣言しました。「大宣教命令とは、考えて選択するようなことではなく、従うべき命令なのである。」

This reflects the psalm's call for the nations to come under God's righteous rule and experience His justice.

このような宣言は、国々の民が神の正しい支配下に入り、神の正義を経験するようという詩篇の呼びかけを反映しています。

APPLICATION: As believers, we should advocate for justice in our own communities while also praying for and supporting global efforts that bring the message of God's righteousness to the world. This could mean volunteering for social justice initiatives, supporting humanitarian work, or being vocal about the need for spiritual as well as physical care for oppressed peoples.

信者として私たちは、自分たちの地域社会における正義を主張すると同時に、神の正義のメッセージを世界に伝える取り組みのために祈り、その活動を支援するべきなのです。それは、社会正義のためにボランティア活動に参加したり、人道的な活動を支援したり、虐げられている人々に対する肉体的なケアだけでなく、霊的なケアの必要性を声高に訴えたりすることも意味します。

Conclusion

God's has a global plan. This global plan is meant to be fulfilled through us.

神には世界的な計画があります。その世界に対する神の計画は、私たちを通して成就されることになっているのです。

Psalm 67:6~7 - ⁶ The land yields its harvest; God, our God, blesses us. ⁷ May God bless us still, so that all the ends of the earth will fear him.

詩篇 67 篇 6 - 7 節—6 地はその産物を出しました。神、私たちの神が、私たちを祝福してください。7 神が私たちを祝福してくださって、**地の果て果てが、ことごとく神を恐れま**
すように。

The psalm closes with the vision of a harvest—both a physical and spiritual one. God blesses us so that His name will be feared, loved, and worshiped in every corner of the earth. We are called to be participants in this global mission.

詩篇のこの箇所では、物理的に人々を収穫することと、霊的な収穫をすることという展望をもって締めくくられています。神は、神の御名が地上のあらゆる場所で恐れられ、愛され、礼拝されるようになるために、私たちを祝福してくださるのです。すなわち私たちは、この世界的使命に参加するように召されているのです。

APPLICATION:

1. Take some time this week to pray for a nation or people group you know little about. **Operation World** (<https://operationworld.org/>) has an app that provides information on the spiritual state of the nations.
2. You could even adopt a nation or a missionary to regularly pray for and support.
3. Reflect on how your personal resources (financial, time, skills) can contribute to spreading God's kingdom. Whether it's through local outreach or global missions, God is calling each of us to be involved in His global plan.

では今から、私たちが、どのように宣教名令を私たちの人生に適応していけば良いのかをみてみましょう。

1. 今週、あなたがあまり知らない国や人々のために祈る時間を取ってください。 **Operation World・オペレーションワールド** (<https://operationworld.org/>)には、他の国々での宣教状況に関する情報を提供するアプリがあります。
2. 定期的に祈ることもできますし、支援する国や宣教師たちを選択することもできます。
3. あなたの個人的な資源（金銭、時間、スキル・技術）を用いて、神の国を広めるためにどのように貢献することができるかを考えてみましょう。地元での奉仕活動であれ、世界での宣教活動であれ、神は私たち一人一人を、神の世界的なご計画に関わるようにと召しておられます。

Let us commit ourselves to being vessels of God's blessings, so that His ways may be known on earth and His salvation experienced among all nations.

私たちは神の祝福の器となり、神の道がこの世に知られ、神の救いがすべての国の人々の間で経験されるように献身しようではありませんか。

PRAYER: *"Father, thank You for Your heart for the nations. You have blessed us in so many ways, and we ask that these blessings would be used to make Your salvation known throughout the earth. Help us to have a global vision, to be willing to step out of our comfort zones, and to take part in Your mission. May all the nations praise You, and may we be faithful to our role in bringing the gospel to all people. In Jesus' name, Amen."*

「父なる神様、国々に対するあなたの心を感謝します。あなたは私たちを多くの方法で祝福してください。これらの祝福があなたの救いを地上に知らせるために用いられるように願います。私たちが世界的な視野を持ち、自分の居心地の良い場所から一步踏み出すことを厭わず、あなたの使命に参加することができるように助けてください。すべての国々があなたを賛美し、私たちがすべての人々に福音をもたらすという私たちの役割に忠実でありますように。イエスの御名によって、アーメン。」